

## 懐かしく温かみのある 作品たち



高原公民館作品展と湯本で20数年創作活動を行った故五十嵐豊氏の企画展が、10月13日～18日、高原公民館で開催され、6日間で町内外から430人が来場しました。この企画展では地域の皆さんの協力により、木工品や陶器、張り子、布絵など70点以上を展示することができました。13日、豊氏の甥の子どもにあたる真山えみりさん（田代地区）も訪れ、さまざまな作品を見ながら「豊さんの作品はなじみのものもありますが、初めて見る作品もありました。町のたくさんの方が大切にしてくれているのが嬉しいです」と笑顔で話しました。また、来場者は「わたしの家にも豊さんの張り子があります」「豊さんの作品は本当にかわいらしいですね」と、温かみのある作品に見入っていました。

## 史資料からわかる 芦野氏の居城を知る

10月18日、芦野公民館で、那須歴史探訪館開館20周年特別展講演会「中世芦野氏の歴史とその居城」が開かれました。

参加者30人を前に、大田原市教育委員会文化振興課学芸員の山川千博氏が講師を務め、芦野氏の城館の跡を調べて分かったこと、古文書など集めた史資料をもとに、「芦野城は、16世紀中期14代資豊のとき、政治課題に対応するため、芦野城（3番目の居城）を築き、館山城（2番目の居城）から移転し、戦国期をとおして芦野氏の本拠になったと思われます」と推測し、中世芦野氏に関わる古文書や江戸時代の系図が、現在残る居城の伝承や構造とどう結び付けられるのかを話しました。



この講座の動画を町Facebookで公開しています。また、特別展「芦野氏一那須七騎から交代寄合へ」を開催しています（関連記事27頁）



日本郵便関東支社の「スナネコ」オリジナルフレーム切手の販売開始にあわせて、水橋郵便局（芳賀町）の水沼和也局長（写真左）から鈴木和也総支配人（写真右）へフレーム切手が贈呈されました（10/16 那須どうぶつ天国）



行政書士会那須支部様からマスク2千枚をいただきました（10/12 特別会議室）



那須高原温泉株式会社様から寄付金をいただきました（9/25 町長室）

矢の目ダムを会場にレースを開催。犬と飼い主が心ひとつに優勝を目指しました（9/27 第2回ドックSUPレース Spes アクティビティ那須）



秋風が薫る中、参加者約250人がウォーキングを楽しみました（9/27 よさこウオーク2020 余笹川流域連携ネットワーク）

